

わたなべただひろ

発行者 渡邊惟大

〒260-8722千葉市中央区千葉港1番1号
千葉市議会 日本維新の会ちば 控室

TEL 080-4668-1168

E-mail watanabe.tadahiro.chiba@gmail.com

※市政に対するご意見をお寄せください



ご挨拶

皆様、令和6年もありがとうございました。令和7年が皆様にとって良い1年となりますこと祈っております。本年もよろしくお願いいたします。

令和6年も自らの経験を生かした議会活動に尽力しました。幕張ビーチ花火フェスタでは、提案により砂浜に車椅子席が設置され、多くの方々がお花火を楽しめました。また、令和5年の一般質問で提案した災害時の福祉避難所への直接避難体制が実現しました。11月には千葉市に「子ども発達相談室」が開設され、子どもの発達に関する相談がより身近になりました。12月の第4回定例会では、蘇我スポーツ公園の指定管理や中学校体育館エアコン設置の補正予算が可決されました。一方で、市長給与や議員期末手当の引き上げには反対の立場を取りましたが、可決されました。少数会派ながら、今年も、是々非々の姿勢で活動を進めてまいります。お気づきの点やご意見がございましたらご連絡をお待ちしております。

令和6年 わたなべただひろの一般質問の概要



渡邊 惟大 議員

① 指定管理者による合理的配慮について

Q 市の取組みについて

保健福祉局
からの回答

本市では、障害者への合理的配慮を推進するため、「合理的配慮対応要領」を策定し、全庁掲示板やメール配信を通じて年度初めに周知を行っています。また、千葉市学習管理システム(C-Learning)を活用した職員向けの動画研修を実施し、合理的配慮の考え方や具体例について理解を深める取り組みを進めています。これにより、障害者のニーズに即した対応ができるよう、職員の意識向上を図っています。



Q コミュニティセンターでの取り組み

市民局
からの回答

コミュニティセンターでは、障害者への合理的配慮が施設ごとに実施されています。具体例としては、視覚障害者への飲料購入時の介助、聴覚障害者や視覚障害者とのコミュニケーションのための専用スマートフォンを使用した読み上げや画面表示、書類の代筆、簡単な手話や筆談対応などがあります。また、プール利用時には、利用者と介助者が異性であっても対応可能な更衣スペースの確保など、個別のニーズに応じた取り組みが行われています。

わたなべ
からの
意見・要望

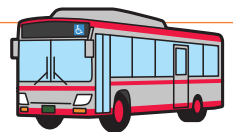
これらの取り組みは評価されますが、施設によっては合理的配慮が不十分であると感じる事例も報告されています。例えば、**障害のあるお子様の更衣介助の際に適切な対応ができなかった事例がありました。このようなケースを防ぐためには、合理的配慮の基準や具体例を示したガイドラインやマニュアルの策定が必要です。**他自治体の事例(例: 八王子市や下関市)を参考に、本市でも指定管理者が合理的配慮を理解しやすい指針を整備することで、利用者和管理者の双方にとってメリットがあると考えます。

② 地域公共交通について

Q 小湊鉄道バスの減便に関する市民の声

都市局
からの回答

今年4月のダイヤ改正で、小湊鉄道の複数のバス路線が大幅に減便され、市民から「移動が困難になった」「不便を感じる」といった声が17件寄せられています。これらの意見には、減便の理由を問うものや具体的な改善要望も含まれています。



Q 減便後の代替移動手段について

都市局
からの回答

今回の減便では、千葉駅と鎌取駅間のバスが平日30便から19便に、千葉駅と大蔵寺間のバスが平日30便から16便に、千葉駅とイオンおゆみ野駅間のバスが平日54便から4便に減便されるなど、大幅な運行本数の削減が行われました。これにより、蘇我駅方面へのアクセシビリティが低下しており、市では事業者への聞き取り調査を進めています。また、地域住民の移動手段を確保するため、沿線の企業や大学のシャトルバスを地域住民と共有する可能性についても検討を進めています。このような取り組みを通じて、地域の交通ニーズに応える代替案の模索が続いています。

③ 幕張ビーチ花火フェスタについて

Q

車椅子席設置の背景と形状

経済農政局
からの回答

昨年度、幕張ビーチ花火フェスタで車椅子席設置の実証実験を実施した結果、一定のニーズが確認されました。これを受け、今年度からは砂浜の一部を整地し、ゴムマットを敷設した車椅子専用の有料観覧席を提供することとしました。この観覧席は、車椅子利用者と付き添いを含めて5人まで利用可能で、砂浜で快適に花火を楽しめるよう配慮されています。



Q

課題への対応

経済農政局
からの回答

昨年の実証実験では、「人混みで車椅子が動かしづらい」「観覧席までの距離が遠い」「多目的トイレが利用しづらい」といった課題が報告されました。これを受け、今年度は観覧席への動線を一般観覧者と分離することで混雑を緩和し、案内表示の改善やスタッフによる補助、多目的トイレの設置場所の見直しを実施する予定です。これにより、安全で安心して花火を楽しめる環境づくりを進めています。



わたなべ
からの
意見・要望

誘導スタッフには、車椅子やベビーカー利用者、高齢者の移動ルートを共有し、すべての来場者が安心して移動できる体制を整備するよう求めます。

私もチケットを購入し現地を視察しました。若い方から高齢者まで多くの車椅子使用者の方々がご家族や友人と楽しまれていました。8年間実現を望み、想像してきた光景でした。準備されてきた皆様に感謝です。

④ その他の質問項目

- 昨年提案した障害者の福祉避難所への直接避難について、電源を常時必要とする人工呼吸器を使用する方の避難体制が一部確立したことを確認
- 生涯現役応援センターについて、他事業と重なる部分を指摘し、相談業務見直しを提案
- 千葉市立養護学校・第二養護学校について、特別支援学校への名称変更検討を提案

わたなべただひろの活動報告(一部のみ抜粋)

議会報告会開催

6月29日に議会報告会を蘇我コミュニティセンターで実施。参加された市民の方々が私の視点への期待を述べてくださり励まされました。様々な困りごと伺いました。千葉市議として京葉線ダイヤの利便性回復を引き続き模索します!



ふるさとまつりへの参加

中央区並びに松ヶ丘のふるさとまつりに呼んでいただきました。いずれも、大勢の方で賑わっており、地域の方々の大変なご尽力を感じました。



千葉県稲門祭に参加

6月30日開催の千葉県稲門祭に参加。昨年も参加しましたが、千葉だけの集まりにも関わらず、かなりの参加者がおり、圧倒されます。先輩方のお話を聞き学ばせて頂きました。



千葉市障害者福祉大会に来賓参加

保健消防委員として、千葉市障害者福祉大会に来賓参加しました。昨年も参加しましたが、様々な視点の体験談を聞いて視野を広げられる貴重な機会でした。



令和6年9月に会派で議会に紹介した「市議会議員への討論原稿案の提供問題に関する請願」について、請願者が自署すべきところ、当時の会派内の無所属議員が本人の同意なく署名していたことがわかりました。請願書の内容は、自民党・立憲民主党の一部議員が市職員に討論原稿案を作らせていたことについて再発防止を求める真つ当な主張でしたが、当該議員の行為は市民の皆様の信頼を裏切るものでした。そして、私は紹介議員となる前に不正がないか確認すべきでした。基礎的な判断を誤り、大変申し訳ございませんでした。当時の会派議員2名に辞職勧告が出され、当該議員は会派離脱しました。残った3人で「日本維新の会ちば」として再スタートを切りました。私が新たに会派の幹事長となり、信頼回復に努めております。どうか見守っていただきますよう、よろしくお願いいたします。

お知らせ

令和7年2月5日(水)～26日(水)は令和7年第1回定例会期間です。

予算審査が行われます。一般質問も予定しております。傍聴方法、中継・録画配信は議会ホームページにて。

わたなべただひろ プロフィール

- 1987年3月生まれ(現在37歳)
- 筋ジストロフィー・デュシェンヌ型
- 10歳から歩行困難で、14歳から電動車椅子使用
- 幼小中高を習志野市・千葉市の普通校で過ごす
- 2002～2005年 千葉県立幕張総合高校
- 2005年 早稲田大学社会科学部入学
- 2009年4月～2011年9月 早稲田大学大学院・政治学研究科修士課程修了
- 2012～13年 日本福祉教育専門学校で社会福祉士取得
- 2014年7月 アクセシビリティ・ユニバーサル・デザイン・アクセシビリティ・デザイン・アクセシビリティの設立
- 2014年7月 アクセシビリティ・ユニバーサル・デザイン・アクセシビリティの設立
- 2023年4月 千葉市議会議員選挙に日本維新の会公認で初当選

公式ホームページ

